

生活困窮者の結核問題 (2)- 65 歳以上編
(2017 年度版)

公益財団法人結核予防会結核研究所 臨床疫学部
河津里沙、内村和広

本資料の閲覧、ダウンロード及び再配布(転載)は自由とするが、引用もしくは転載する際は著作者の表示をその条件とする。

引用例:

河津里沙、内村和広. 生活困窮者の結核(2)-65 歳以上編(2017 年度版)、2017 年 11 月 21 日更新、公益財団法人結核予防会結核研究所 疫学情報センター<http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/info/other/>

生活困窮者の結核（2）- 65歳以上編（2017年度版）

目次:

1. 背景
2. 方法
3. 65歳以上新届け出患者における「生活困窮者」の経年推移
4. 65歳以上新届け出患者における「生活困窮者」の基本的属性
5. 65歳以上新届け出有症状肺結核患者における「生活困窮者」の発見の遅れの傾向
6. 65歳以上新届け出患者における「生活困窮者」の治療成績
7. ホームレスのリスクか、無保険のリスクか
8. まとめ

1. 背景

「生活困窮者」における結核の偏在は今後も進行すると思われ、この集団を対象とする結核対策は、一層その重要性が増すと考えられる。一方で、「生活困窮者」は多様化しており、それに伴って結核対策上の課題も多様化している。本資料では、結核登録者情報システムから得られる変数を用いて、生活困窮者を「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」と定義し、それぞれの動向と特徴をまとめた。特に、本資料では、対象者を65歳以上に絞り、高齢者層における生活困窮者を分析対象とした。

なお、64歳以下の高齢者における生活困窮者については「生活困窮者の結核」(1) - 25-64歳編」を参照されたい。

2. 方法

結核登録者情報システムにおける情報を用いて、65歳以上の新届け出結核患者数のうち、保険の種類が登録時「生活保護受給中」(以後、生活保護受給者)、「生活保護申請中」(以後、無保険者)、及びホームレス歴が「あり」(以後、ホームレス)の者を抽出し、それぞれの経年変化、基本属性、発見の遅れ及び治療成績について分析した。65歳以上の全新届け出患者数のうちの割合の算出にあたっては、「生活保護受給者」・「無保険者」に関しては、分母より「保険の種類不明」を除いた数を用いた。ホームレスに関しては、「ホームレス歴不明」・「入力なし」が多いため、分母を全患者数とした。

全ての統計処理、及びに解析にはR(ver.3.1.4)を用いた。

※世界的な流れに従い、本資料ではこれまで一般的に使われてきた「新登録患者数」を「新届け出患者数」、「罹患率」を「新届け出率」と改めた。

3. 65歳以上新届け出結核患者における「生活困窮者」の経年推移

65歳以上の2016年新届け出結核患者11,742人中、保険の種類が把握されていた者は11,591人(98.7%)であり、そのうち生活保護受給中は804人(6.9%)、無保険の者は29人(0.3%)であった。ホームレス、及びホームレス歴ありの者は83人であり、65歳以上の2016年新届け出結核患者の0.7%を占めていた。

図1a～1cに、65歳以上の新届け出結核患者における「生活保護受給者」「無保険者」「ホームレス」の数及び各割合の推移を示した。無保険者及びホームレスの患者数自体は減少傾向にあるが、生活保護受給者の患者数に顕著な変化は見られず、その割合は若干増加していた(資料①)。

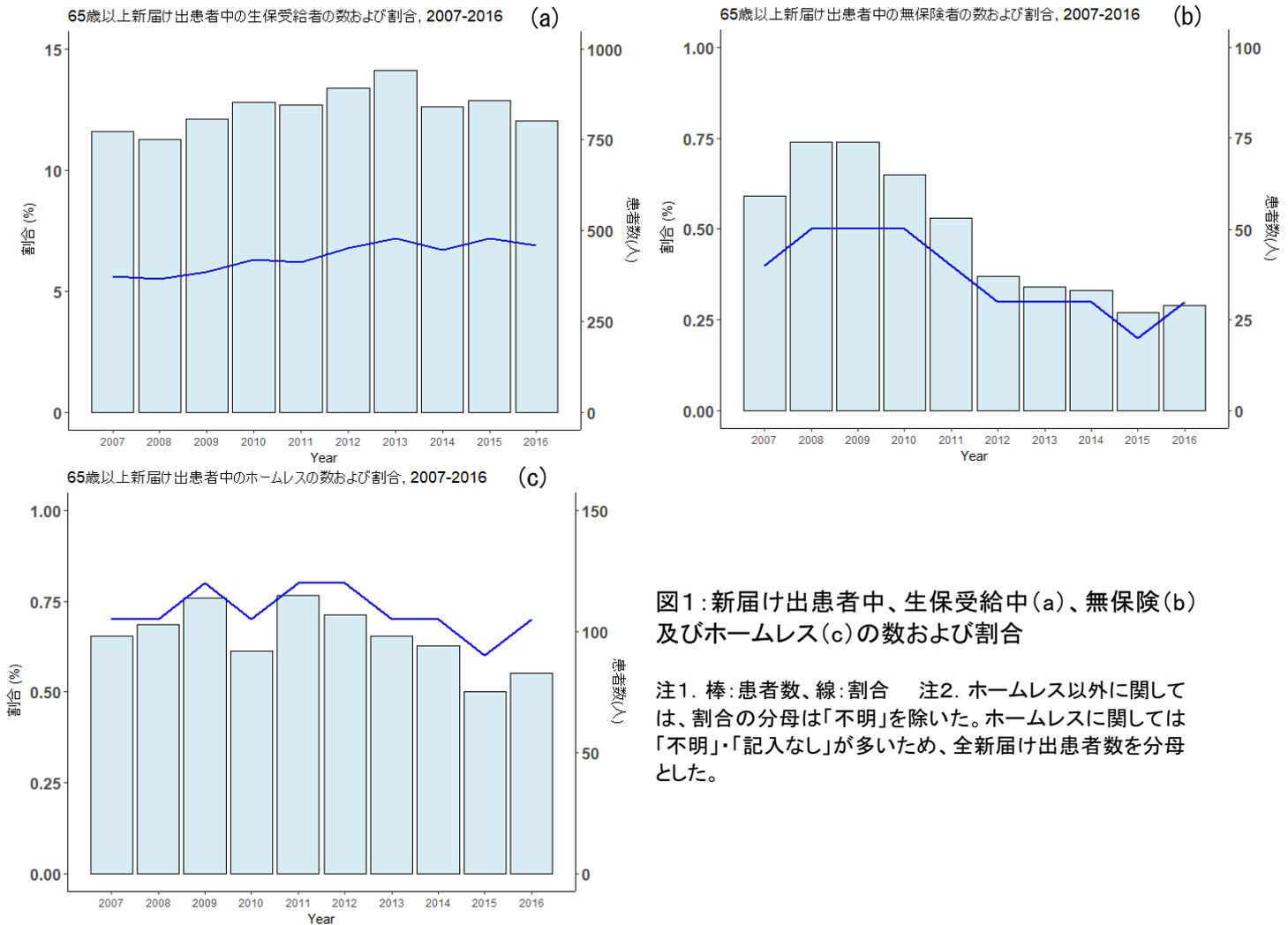


図1:新届け出患者中、生保受給中(a)、無保険(b)及びホームレス(c)の数および割合

注1. 棒:患者数、線:割合 注2. ホームレス以外に関しては、割合の分母は「不明」を除いた。ホームレスに関しては「不明」「記入なし」が多いため、全届け出患者数を分母とした。

4. 65 歳以上新届け出結核患者における「生活困窮者」の基本的属性

2007 年～2016 年の 65 歳以上新届け出結核患者のうち、「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」の基本的属性を表1に示した。

表1： 2007 年～2016 年の 65 歳以上新届け出結核患者のうち、「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」の基本的属性

	生保受給中		無保険		ホームレス	
	n	%	n	%	n	%
男性	6,319	75.4	445	91.8	907	92.6
女性	2,059	24.6	40	8.2	72	7.4
65-74	4,418	52.7	380	78.4	690	70.5
75-84	3,076	36.7	81	16.7	231	23.6
85+	884	10.6	24	4.9	58	5.9
合計	8,378	100.0	485	100.0	979	100.0

無保険、及びホームレスの 90%以上は男性であったが、生活保護受給者においては女性が占める割合はやや大きく、24.6%であった。無保険、及びホームレスにおいては 65-74 歳が 70%以上を占めていたが、生活保護受給者においては 65-74 歳が 52.7%、75-84 歳が 36.7%を占めていた。

5. 65 歳以上新届け出有症状肺結核患者における「生活困窮者」の発見の遅れの傾向

2016 年の 65 歳以上新届け出有症状肺結核患者における「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」のうち、発見の遅れ(症状から診断までが 3 か月以上)が認められた者は、それぞれ 17.1%(66/385)、10.0%(1/10)、及び 38.9%(14/36)で、生活保護受給者及びホームレスにおける発見の遅れの割合は、有症状肺結核患者全体における割合 16.5%(785/4,758)より高かった。

上記は、分母を発見の遅れが不明を除いた数とした。発見の遅れに関する情報が不明だった者の割合は「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」において、それぞれ 29.3%(160/545)、47.4%(9/19)、40.0%(24/60)で、分母に「不明」も含めた場合でも、ホームレスにおける発見の遅れの割合が突出して高いという同様の傾向を示した(資料②)。

図2に 65 歳以上新届け出有症状肺結核患者における「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」のうち、発見の遅れが認められた者の割合の経年変化を示した(資料③)。

有症状肺結核患者中、発見の遅れありの割合, 2007-2016

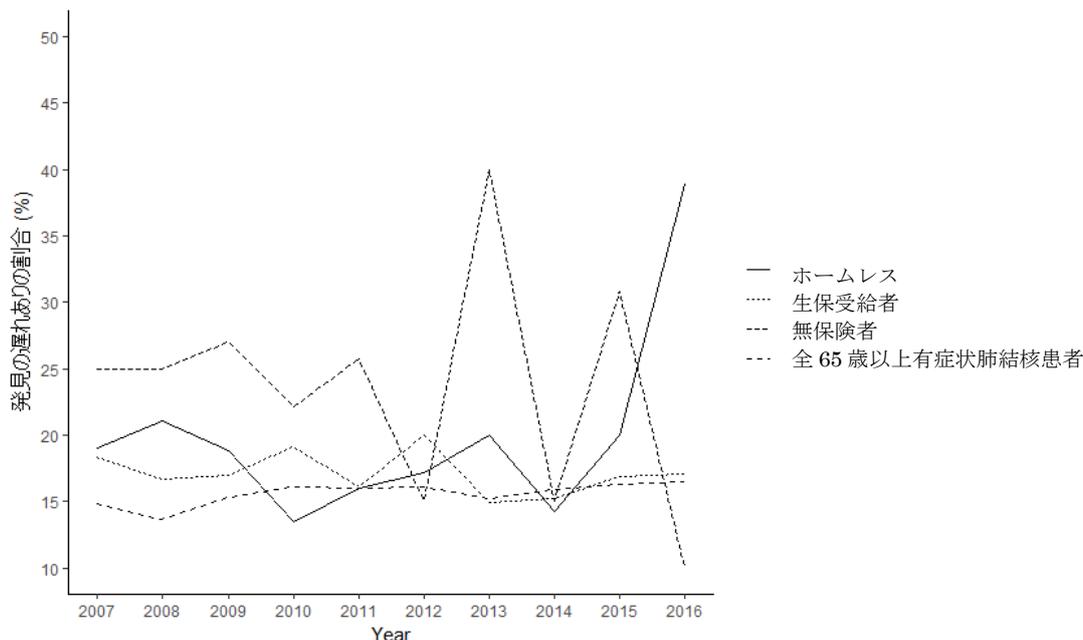


図2: 有症状肺結核患者中、発見の遅れありの割合の経年変化、2007-2016

6. 65 歳以上新届け出肺結核患者における「生活困窮者」の治療成績

2015 年の 65 歳以上新届け出肺結核患者のうち、「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」・「全 65 歳以上新届け出結核患者」の治療成績を表2にまとめた。

表2: 2015 年の 65 歳以上新届け出肺結核患者のうち、「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」・「全 65 歳以上新届け出肺結核患者」の各治療成績

	生活保護受給者		無保険者		ホームレス		全患者	
	n	%	n	%	n	%	n	%
治癒	137	19.5	3	12.5	13	19.1	1,089	12.0
治療完了	193	27.5	4	16.7	16	23.5	2,876	31.8
死亡	165	23.5	4	16.7	12	17.6	2,264	25.0
失敗	2	0.3	0	0.0	0	0.0	33	0.4
転出	25	3.6	2	8.3	6	8.8	173	1.9
脱落	34	4.8	3	12.5	4	5.9	489	5.4
12か月を超える治療	62	8.8	3	12.5	9	13.2	805	8.9
判定不能	85	12.1	5	20.8	8	11.8	1,313	14.5
合計	703	100.0	24	100.0	68	100.0	9,042	100.0

65 歳以上の生活保護受給者及びホームレスの治療成功割合（治癒＋治療完了）は、全患者（43.8%、3,875/9,042）と同等で、生活保護受給者で 46.9%（330/703）、ホームレスで 42.6%（29/68）であった。無保険者の治療成功割合は 29.2%（7/24）と著しく低く、判定不能割合 20.8%（5/24）及び脱落割合 12.5%（3/24）が高かった。死亡の割合は全てにおいて全患者の割合 25.0%（2,264/9,042）より低かった。

しかし、表1でも示したように、それぞれの生活困窮者は 84 歳未満が 80%以上を占めるが、一般の 65 歳以上の患者では 40%弱が 85 歳以上である。65 歳以上の年齢構成の違いが死亡割合に影響を与えている可能性が

あるため、更に年齢を区切って治療成績を検討した。表3で示すとおり、65-74 歳における死亡割合は、全患者 11.0%(249/2,270)と比較して、生活保護受給者 25.0%(59/236)や無保険者 15.8%(3/19)が高かった。一方でホームレスの死亡割合は 10.2%(5/49)と、大きな差は見られなかった。

表3:2015 年の 65-74 歳新届け出肺結核患者のうち、「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」・「全 65-74 歳新届け出肺結核患者」の各治療成績

	生活保護受給者		無保険者		ホームレス		全患者	
	n	%	n	%	n	%	n	%
治癒	72	19.1	3	15.8	8	16.3	376	16.6
完了	110	29.2	4	21.1	15	30.6	924	40.7
死亡	69	18.3	3	15.8	5	10.2	249	11.0
失敗	1	0.3	0	0.0	0	0.0	7	0.3
脱落	23	6.1	3	15.8	4	8.2	161	7.1
転出	15	4.0	2	10.5	6	12.2	50	2.2
12か月を超える治療	41	10.9	0	0.0	7	14.3	238	10.5
判定不能	46	12.2	4	21.1	4	8.2	265	11.7
合計	377	100.0	19	100.0	49	100.0	2,270	100.0

75 歳以上に関してもホームレス、無保険者の数が小さく意味のある比較はできないが、生活保護受給者に関しては、全肺患者と比較して死亡割合は高いままであった(表4、表5)。

表4:2015 年の 75-84 歳新届け出肺結核患者のうち、「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」・「全 75-84 歳新届け出患者」の各治療成績

	生活保護受給者		無保険者		ホームレス		全患者	
	n	%	n	%	n	%	n	%
治癒	54	22.9	0	0.0	5	31.3	471	13.3
完了	62	26.3	0	0.0	1	6.3	1187	33.5
死亡	59	25.0	1	5.3	4	25.0	779	22.0
失敗	1	0.4	0	0.0	0	0.0	16	0.5
脱落	10	4.2	0	0.0	0	0.0	193	5.4
転出	6	2.5	0	0.0	0	0.0	59	1.7
12か月を超える治療	18	7.6	3	15.8	2	12.5	354	10.0
判定不能	26	11.0	1	5.3	4	25.0	487	13.7
合計	236	100.0	5	26.3	16	100.0	3546	100.0

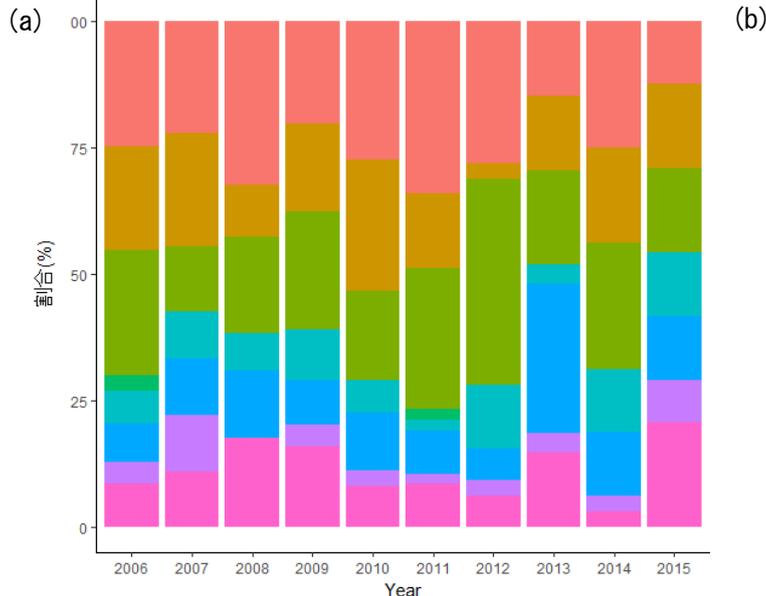
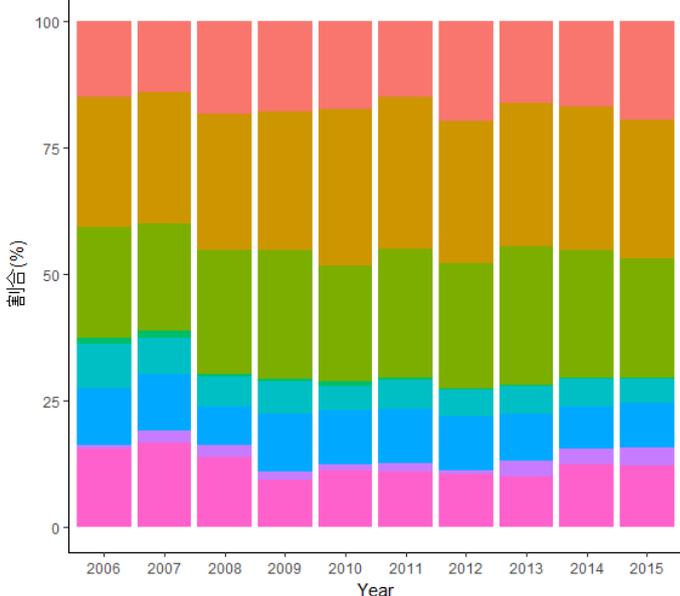
表5:2015年の85歳以上新届け出肺結核患者のうち、「生活保護受給者」・「無保険者」・「ホームレス」・「全85歳以上新届け出患者」の各治療成績

	生活保護受給者		無保険者		ホームレス		全患者	
	n	%	n	%	n	%	n	%
治癒	11	12.2	0	0.0	0	0.0	242	6.8
完了	21	23.3	0	0.0	0	0.0	765	21.6
死亡	37	41.1	0	0.0	3	100.0	1,236	34.9
失敗	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	0.3
脱落	1	1.1	0	0.0	0	0.0	135	3.8
転出	4	4.4	0	0.0	0	0.0	64	1.8
12か月を超える治療	3	3.3	0	0.0	0	0.0	213	6.0
判定不能	13	14.4	0	0.0	0	0.0	561	15.8
合計	90	100.0	0	0.0	3	100.0	3,226	91.0

最後に図6a～6cに新届け出肺結核患者における「生活保護受給者」「無保険者」「ホームレス」の各治療成績の経年変化を示す。生活保護受給者においては特に治療成績の向上は見られなかった。無保険者に関しては患者数が少ないためばらつきがあり、特に目立つ傾向は見られなかった。ホームレスに関しては2012年以降、治療成功割合に若干の改善傾向が見られた(資料④)。

65歳以上新届け出肺結核患者中、生保受給者の治療成績, 2006-2015

65歳以上新届け出肺結核患者中、無保険者の治療成績, 2006-2015



65歳以上新届け出肺結核患者中、ホームレスの治療成績, 2006-2015

(c)



- 治療成績
- 治癒
 - 治療完了
 - 死亡
 - 失敗
 - 脱落中断
 - 12か月を超える治療
 - 転出
 - 判定不能

図6：新届け出肺結核患者における「生活保護受給者」(a)、「無保険者」(b)及び「ホームレス」(c)の治療成績

8. まとめ

25-64 歳と異なり、65 歳以上においては、近年の生活保護受給者の患者数に減少傾向は見られず、また全患者における割合は、若干の増加が認められた。発見の遅れに関しては、ホームレスにおける発見の遅れ割合が高かったが、高齢者は受診の遅れよりも診断の遅れが目立つ傾向があった。この発見の遅れが受診の遅れによるものか、診断の遅れによるものかは今後詳しく解析する必要がある。

治療成績に関して、65 歳以上全般で比較すると死亡割合に差はなかったが、これは年齢構成の違いによるものと考えられた。10 歳区分で見ると、いずれも全患者と比較して生活困窮を背景に持つ者における死亡割合の方が高く、加齢以外の社会的な因子が影響していることが示唆された。

資料① 65歳以上新届け出患者数及び、そのうちの生活保護受給者、無保険者、ホームレスの数および割合、2007-2016

	全患者 (a)	無職 (b)	職業が不明 を除いた合計 (c)	無職割合 (%) (b/c*100)	生活保護 (d)	無保険 (e)	保健の種類 が不明を除 いた合計 (f)	生活保護割 合(%) (d/f*100)	無保険割合 (%) (e/f*100)	ホームレス (g)	ホームレス割 合(%) (g/a*100)
2007	14,089	12,141	13,850	87.7	774	59	13,806	5.6	0.4	98	0.7
2008	14,044	12,170	13,745	88.5	752	74	13,792	5.5	0.5	103	0.7
2009	14,011	12,309	13,739	89.6	808	74	13,827	5.8	0.5	114	0.8
2010	13,745	12,152	13,464	90.3	854	65	13,569	6.3	0.5	92	0.7
2011	13,756	12,274	13,505	90.9	848	53	13,615	6.2	0.4	115	0.8
2012	13,307	11,916	13,099	91.0	894	37	13,141	6.8	0.3	107	0.8
2013	13,227	11,812	12,971	91.1	943	34	13,042	7.2	0.3	98	0.7
2014	12,823	11,387	12,572	90.6	841	33	12,624	6.7	0.3	94	0.7
2015	12,166	10,705	11,849	90.3	860	27	11,980	7.2	0.2	75	0.6
2016	11,742	10,415	11,489	90.7	804	29	11,591	6.9	0.3	83	0.7

資料② 65歳以上新届け出有症状肺結核患者における生活保護受給者、無保険者、ホームレスの発見の遅れ、2016

	発見の遅れあり (a)	発見の遅れ なし	不明	発見の遅れ 不明を除い た合計 (b)	発見の遅れ 不明を含め た合計 (c)	発見の遅れ 割合1 (%) (a/b*100)	発見の遅れ 割合2 (%) (a/c*100)
生活保護受給者	66	319	160	385	545	17.1	12.1
無保険者	1	9	9	10	19	10.0	5.3
ホームレス	14	22	24	36	60	38.9	23.3

資料③ 65歳以上新届け出有症状肺結核患者及び、そのうちの生活保護受給者、無保険者、ホームレスの発見の遅れありの割合、2007-2016

	生活保護 受給者	無保険者	ホームレス	全患者
2007	18.4	25.0	19.0	14.8
2008	16.7	25.0	21.1	13.7
2009	17.0	27.0	18.8	15.3
2010	19.1	22.2	13.5	16.1
2011	16.1	25.8	16.0	16.0
2012	20.0	15.0	17.2	16.1
2013	14.9	40.0	20.0	15.2
2014	15.2	15.0	14.3	15.9
2015	16.9	30.8	20.0	16.9
2016	17.1	10.0	38.9	16.5

資料④ 65歳以上新届け出肺患者における「生活保護受給者」「無保険者」及び「ホームレス」の治療成績

(a) 生活保護受給者

	治癒	治療完了	死亡	失敗	転出	脱落	12か月を超える治療	判定不能	合計
2006	91	154	131	7	4	53	68	93	601
2007	91	166	136	9	14	46	73	108	643
2008	111	161	146	4	14	35	46	83	600
2009	118	181	168	3	10	43	76	62	661
2010	128	224	166	7	8	36	78	82	729
2011	106	209	178	3	12	41	74	77	700
2012	143	202	179	2	6	37	77	76	722
2013	126	221	212	3	25	41	72	78	778
2014	116	192	172	1	21	37	58	84	681
2015	137	193	165	2	25	34	62	85	703

(b) 無保険者

	治癒	治療完了	死亡	失敗	転出	脱落	12か月を超える治療	判定不能	合計
2006	23	19	23	3	4	6	7	8	93
2007	12	12	7	0	6	5	6	6	54
2008	22	7	13	0	0	5	9	12	68
2009	14	12	16	0	3	7	6	11	69
2010	17	16	11	0	2	4	7	5	62
2011	16	7	13	1	1	1	4	4	47
2012	9	1	13	0	1	4	2	2	32
2013	4	4	5	0	1	1	8	4	27
2014	8	6	8	0	1	4	4	1	32
2015	3	4	4	0	2	3	3	5	24

(c) ホームレス

	治癒	治療完了	死亡	失敗	転出	脱落	12か月を超える治療	判定不能	合計
2006	2	0	2	0	0	0	2	0	6
2007	7	19	7	1	10	8	7	28	87
2008	17	22	11	0	10	7	8	17	92
2009	16	31	23	0	5	10	10	7	102
2010	17	23	14	1	3	2	10	9	79
2011	23	31	16	0	3	7	9	14	103
2012	18	18	22	0	2	8	14	11	93
2013	11	22	21	0	8	8	6	8	84
2014	18	16	17	0	10	5	8	11	85
2015	13	16	12	0	6	4	9	8	68